

福 祉

問 東総地区広域ごみ焼却施設建設設計画検討委員会の最終答申が出されたが、これをどのように評価しているのか。

答 答申された内容は、主に次の3項目です。①一般廃棄物ごみ処理基本計画及びごみ処理施設整備基本構想の見直しについて、基本計画は平成38年度を計画目標年度とした基本理念及び基本方針に基づく施策が示され、ごみ処理施設整備基本構想は、銚子市に予定された中間処理施設及び最終処分場の建設計画を具体化するためには、平成32年から5力年を計画期間として区域計画は、平成25年度から3Rを総合的に推進するための廃棄物処理計画が策定されている。③ごみ処理施

環境

問 当市では、市内循環バスを利用して買い物をする方もいるが、バスを利用できない方など、買い物弱者に対しての対策が講じられているか。

答 介護認定されていない自立の高齢者で買い物等生活支援の必要な方は、ヘルパーを派遣する事業を行っており、介護認定された方は、介護保険サービスでの対応と

なります。自買買い物にかかるための支援につきましては、重度障害者や寝たきり、認知症高齢者を対象にした福祉タクシー利用助成事業、一人で外出の困難な方には介護者つきで外出を支援する移動支援事業を行っています。その他の支

問 救急医療情報キット配布は平成23年度予算に計上し、1年以上が経過したが、現在の進捗状況は。

なります。自買買い物にかかるための支援につきましては、重度障害者や寝たきり、認知症高齢者を対象にした福祉タクシー利用助成事業、一人で外出の困難な方には介護者つきで外出を支援する移動支援事業を行っています。その他の支

方式溶融炉に差異は認められない」とあるが、建設費の比較について説明願いたい。

答 東総地区広域市町村圏事務組合事務局の試算では、メーターインケートに対しても回答、その平均をもつて試算していますが、熱回収施設では、シャフト方式で約119億円、ストーカ方式が約111億円となっています。シャフト方式の場合は、鉄などの不燃物、焼却残渣も溶融処理を行いスラグ化するために、排出される灰の量も少なく、最終処分場も小規模で済むために、総合的な建設費用は概算で、シャフト方式が約154億円、

設の処理方式は、シャフト方式が妥当とされています。これらの答申内容は、地域の特別性等を踏まえた上での検討結果であり、尊重していくべきものと認識しています。

問 東総地区広域市町村圏事務組合の4月12日の会議で、焼却方式については慎重に議論し拙速しないということだが、市長はどのように考へるか。

かる経費は含まれていません。ストーカ方式が約175億円となります。なお、この金額には、中継施設等にかかる費用は含まれていません。

なります。自買買い物にかかるための支援につきましては、重度障害者や寝たきり、認知症高齢者を対象にした福祉タクシー利用助成事業、一人で外出の困難な方には介護者つきで外出を支援する移動支援事業を行っています。その他の支

問 議会運営委員会では、行政視察研修が開催され、7月23日(火)は

山梨県甲府市米倉山太陽光発電所を視察しました。米倉山発電所は山梨県と東京電力(株)の共同事業により甲府市の南部にある米倉山に建設された、内陸部では最大規模となるメガソーラー発電所です。

議会運営委員会 行政視察研修①



▲甲府市：米倉山太陽光発電所（ゆめソーラー館やまなし）



▲豊川市：豊川市清掃工場の会議室で熱心に研修

式の変化と事業所等から排出されるごみ発生量の増加及びごみ質の多様化傾向に対処し、焼却に伴って発生するダイオキシン類の排出削減などにも対応したストーカ炉と、シャフト炉式ガス化溶融炉の2種類の異なる炉を備えた処理施設です。また、ストーカ炉及びし尿処理場から排出される焼却灰を溶融処理することにより、焼却灰最終処分場の埋め立て処理量の削減や溶融物（スラグ・メタル）の資源化、熱エネルギーの有効活用により、生活環境の保全に配慮した施設です。当日は、担当職員から清掃工場の概要説明を受けた後、施設見学をしま



▲浜松市：舞阪町弁天島津波避難タワーを視察

した。同21日(水)には静岡県浜松市を訪問しました。浜松市は、東海・東南海地震の発生が確実視される中、巨大地震による津波対策として、県が民間の寄付などを得て進めている浜松市沿岸域の防潮堤等整備工事や津波避難タワーの建設など各種の津波対策が進められています。当日は、津波避難タワーを視察した後、浜松市役所において、防災担当者から津波対策についての詳細な説明をいただきました。市議会では、この視察研修で得られた情報と市民の声を、現在、3市で取り組んでいる東総地区広域ごみ焼却施設建設や今後の市の津波対策に活かせるよう取り組んでいきます。

議会運営委員会では、行政視察研修が開催され、7月23日(火)は議会運営委員会の答申を尊重し、3市長会議で慎重に検討しているところで、今後、首長会議で審議した後に東総地区広域市町村圏事務組合議会で審議いただく方向で検討しています。



▲韮崎市：韮崎市議会の全員協議会室で熱心に研修